

日本のインフラを支える「ものづくりの」 人から人へ、創業時から受け継ぐ Only oneの技能技術

鈴木工務店

鈴木工務店(大田区蒲田本町、鈴木茂社長、03・3735・3331、<http://www.suzuko.com>)は、昭和46年、型枠工事の会社として創業した。当時は高度経済成長期から安定期へと移り変わり、社会インフラが急速に整備されていた時代であり、顧客の幅広いニーズに応えるべく、型枠工事のみならず躯体構築の一式施工を行う企業へと成長してきた。

同社は、道路・鉄道・上下水道などの社会インフラを整備する土木工事のうち、主にコンクリート構築物の躯体構築工事を担当しており、構築物掘削(土工事)から足場・鉄筋・型枠およびコンクリートの各工事について、単一工事から一式工事までの施工および施工管理を行っている。施工実績は数多く、東名高速の高架橋や、下水処理場工事、羽田空港整備工事に加え、震災に伴う陸前高田地区海岸災害復旧工事の一環であ



随時社員の表彰を行い、技術向上や安全確認への意識づけを図る



施工例：群馬県長野原町の「第二吾妻川橋梁」

る浜田川水門工事など多岐にわたる。ホームページの施工実績には誰もが一度は利用したことのある現場写真が並んでいるので、ぜひ一度ご覧いただきたい。

また、「創業より、技の表現と夢の実現」をスローガンに、人から人へ技能と技術を継承してきました。これからも、安全で暮らしやすい社会を創るためにも「ものづくりの」このころ「をもった人材を全力で育成していきたい」と鈴木社長が語る通り、同社の技術を支えているのは徹底した技術指導の体制である。経験豊かな複数の先輩社員による、現場での長期的なOJT指導は欠かせない。さらに、富士教育訓練センターでの研修など、技術の向上や各種資格取得に役立つバックアップ体制のもと、永年培われた同社の高い施工技術や技能が確実に伝承されていくのだ。